



株主のみなさまへ

第97期中間ご報告

平成24年3月21日 ▶ 平成24年9月20日

株式会社 安川電機

(証券コード：6506)

■ 株主のみなさまへ

株主のみなさまには平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

第97期第2四半期連結累計期間（平成24年3月21日から平成24年9月20日まで）における
当社グループの業績について概要をご報告申し上げます。

当第2四半期連結累計期間の当社グループを取り巻く経営環境は、海外は、米国経済は緩やかな景気回復が続いたものの、欧州の債務・金融危機や中国経済の減速、円高の定着等により、厳しい状況で推移いたしました。一方、国内は、東日本大震災からの復興需要等を背景として回復基調となりましたが、当社市場に関しては総じて弱含みで推移いたしました。

このような状況下、当社グループでは、厳しい環境の中でも好調な市場を捉え、拡販に注力してまいりました。主要セグメントのうち、モーションコントロールは一定の水準を確保し、ロボットは堅調に推移いたしました。

また、グローバル企業としての高収益体質実現を図るべく、海外生産体制の拡充や経費構造の見直し等を進めるとともに、平成24年度を通じて以下の方針にそった諸施策を実行中です。

- コア事業の利益率向上
- 新規事業への資源重点投入
- 開発力、生産力、販売力の継続的進化

上記の結果、当第2四半期連結累計期間の当社グループの業績は、好調だった前年同期の水準には至らなかったものの、売上高1,504億86百万円（前年同期比4.8%減）、営業利益61億39百万円（同33.6%減）、経常利益63億

54百万円（同31.7%減）、四半期純利益34億98百万円（同46.1%減）となりました。

以上のような業績及び財務状況等を勘案し、中間配当につきましては当初お知らせいたしておりましたとおり、1株につき5円とさせていただきます。

当社グループでは、事業内容を5つのセグメントに分けております。

当第2四半期連結累計期間の各セグメント別の業績動向はつぎのとおりです。

セグメント別の業績

セグメントの名称	売上高(前年同期比)	営業損益(前年同期比)
モーション コントロール	704億67百万円 (16.4%減)	19億96百万円 (40億25百万円減)
ロボット	544億61百万円 (12.1%増)	40億73百万円 (8億75百万円増)
システム エンジニアリング	161億74百万円 (12.7%増)	4億7百万円 (3億60百万円増)
情報	63億72百万円 (5.2%増)	△2億71百万円 (1億81百万円減)
その他	30億10百万円 (36.3%減)	96百万円 (1億69百万円減)

今後の状況につきましては、世界経済は、欧州の債務・金融危機や中国経済の減速等、不透明感が強まっております。また、円高も継続すると見られることから、当社グループを取り巻く経営環境は厳しいものと想定しております。

このような状況に打ち勝ち、市場の変化に最速・最適に対応すべく、既存の施策に加え、今後、以下の4項目の強化策を実行してまいります。

● 受注の確保

中国においては販売網を増強し、欧米においては販売ルート・拠点の拡大を行う等、成長市場への拡販に注力してまいります。

● 新規事業展開の加速

太陽光発電用パワーコンディショナ等の省エネルギーに寄与する製品群の拡販や、大型風力発電用電機品の受注に注力いたします。

● コスト構造の改善

円高に対応し、海外生産拠点を十分に活用したコストダウンを行います。また、生産体制をより合理的に見直す等、生産効率をさらに向上させてまいります。

● 業務のさらなる効率化

グループ全体で業務の無理・無駄を徹底的に無くす活動を推進してまいります。

当社グループは、不確実性の高い経済環境の中、選択と集中、経費構造の見直しにより、グローバル企業としての高収益体質実現及び将来の基幹事業の創出を図ってまいります。

株主のみなさまにおかれましては、今後ともなお一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成24年11月



代表取締役社長

津田 弘嗣

■ セグメント別の概況

モーションコントロール

ACサーボモータ・コントローラは、欧州の債務・金融危機の継続及び中国をはじめとしたアジア経済の減速の影響を受けたものの、一定の水準を確保いたしました。

インバータは、欧州向けは弱含みで推移いたしました。中国、米州向けは堅調に推移いたしました。しかしながら、好調だった前年同期と比較すると、売上高、営業利益とも減少いたしました。

主要製品

- ACサーボモータ・制御装置
- 汎用インバータ
- 工作機械用AC主軸モータ・制御装置
- リニアモータ・制御装置
- 高速モータ
- 小形精密モータ
- 複合モータ
- 高効率モータ・インバータ
- 高周波インバータ
- マトリクスコンバータ
- マシンコントローラ
- ビジョンシステム
- 太陽光発電用パワーコンディショナ
- EV用モータドライブシステム
- その他



ロボット

溶接・ハンドリング・塗装ロボット等は、海外の自動車業界向けを中心に堅調を持続いたしました。この結果、前年同期比で、売上高、営業利益とも拡大いたしました。

主要製品

- アーク溶接ロボット
- スポット溶接ロボット
- 塗装ロボット
- ハンドリングロボット
- 半導体・液晶製造装置用クリーン・真空搬送ロボット
- ロボット周辺機器
- ロボット応用FAシステム
- サービスロボット
- その他



システムエンジニアリング

水処理設備用向けは減少いたしました。鉄鋼業界向けは堅調に推移し、前年同期比で、売上高、営業利益とも拡大いたしました。

主要製品

- 鉄鋼プラント用電機システム
- 上下水道用電気計装システム
- 道路設備電源システム
- 港湾荷役用クレーン制御システム
- 紙・フィルム・繊維製造装置・印刷機械用可変速ドライブシステム
- システム情報制御機器
- 中大容量高圧インバータ
- 中大容量高圧マトリクスコンバータ
- 高圧開閉装置
- コントロールセンタ
- システム用制御盤
- 電力用配電機器
- 永久磁石内蔵形回転機
- 中大形誘導電動機
- 中形発電機及び発電装置
- その他産業用回転機
- 大形風力発電機
- 大形風力発電用コンバータ
- 小形風力・太陽光発電システム
- 省エネルギー関連システム
- その他



情報・その他

顧客の情報関連投資が依然として抑制されていること等により、前年同期比で、売上高は微増にとどまり、営業損失は拡大いたしました。その他セグメントには物流サービス等の事業が含まれております。

主要製品

情報

- 情報関連製品・サービス
(オプトメカトロニクス・情報セキュリティ・情報マルチメディア)
- 情報処理ソフト及びサービス
- OA機器
- その他

その他

- 物流サービス
- その他



■ 新商品のご紹介・トピックス

ACサーボモータの 累計出荷台数1000万台を達成

当社ACサーボモータの累計出荷台数が1000万台を突破いたしました。当社は昭和59年よりACサーボドライブ市場において常に革新的な技術を盛り込んだ製品を開発してまいりました。

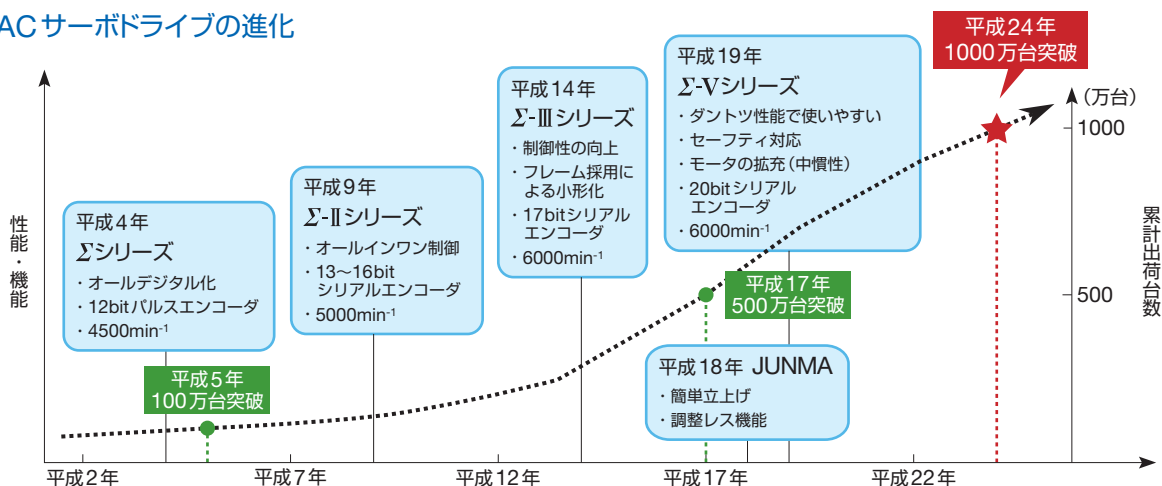
平成4年には当時の常識を打ち破る高速・高精度な位置決めと小形化、抜群の使いやすさを実現した Σ シリーズを投入。環境保護に対する規制対応や、さらなる高性能化などへのニーズにお応えするため、平成9年に Σ -IIシリーズ、平成14年に Σ -IIIシリーズを投入し、現在の主力機種である Σ -Vシリーズもお客様から大変好評をいただいております。

ACサーボドライブは幅広い用途に拡大し続けており、今後はエネルギーの効率的な利用が要求される装置や介護・医療用途など、新しい分野への拡販・展開を目指しています。また、省配線化・制御性能向上のほか、高速ネットワーク、CPUの高速化技術をさらに追求し、お客様に喜んでいただけるサーボ製品を提供してまいります。



現在の主力機種 Σ -Vシリーズ

■ ACサーボドライブの進化



Σ-Vシリーズに大容量機種が誕生

ACサーボドライブ

大容量Σ-Vシリーズ

Σ-Vシリーズに大容量（AC400V 22～55kW）のサーボモーター・サーボパックをラインアップいたしました。

射出成形機・金属加工機市場では、従来の油圧方式からクリーンで省エネに優れた電動方式への置き換えが確実に進んでいます。また、需要が急速に増加している太陽電池・LEDなどの材料を切り出すワイヤソーでは、より硬質な素材を加工するため、サーボの大容量化が求められています。大容量Σ-Vシリーズはこれらのニーズにお応えするとともに、ヨーロッパ・アメリカ・アジア各国でお使いいただけるよう、各種海外規格にも準拠しています。

主な用途

- 射出成形機
- 金属加工機
- ワイヤソー（半導体、太陽電池製造向け）



集合住宅や学校などの施設に最適

太陽光発電用パワーコンディショナ

PV1000（高周波音低減タイプ）

平成22年の発売以来、順調に販売実績を伸ばしている10kWクラスの太陽光発電用パワーコンディショナPV1000に、高周波音低減タイプをラインアップいたしました。

業界最高レベルの変換効率や広い入力電圧範囲など、従来機種の特長を受け継ぎながら、形状や部品の工夫により、不快感を与える高周波音を低減しています。アパートなどの集合住宅や学校・病院などの太陽光発電施設を中心に、積極的に拡販を進めてまいります。

主な用途

- 太陽光発電施設



■ 新商品のご紹介・トピックス

小型化、耐環境性を実現

大型風力発電用液冷マトリクスコンバータ

Enewin-MX1

風力発電への関心が高まる中、より高い効率と発電コスト低減を実現するため、風車の大型化・洋上化が加速しています。このようなニーズにお応えるため、大型風力発電用電機品 Enewin シリーズに Enewin-MX1 をラインアップいたしました。

当社独自のマトリクスコンバータ技術を採用することで AC-AC 直接変換を可能にし、電力変換効率 約98% を実現しています。

また、冷却方式を液冷化することで、空冷方式に比べ据付面積 35% 減を実現（当社比）し、耐環境性や小型化といった洋上風車電機品のニーズにお応えします。

主な用途

- 風力発電施設

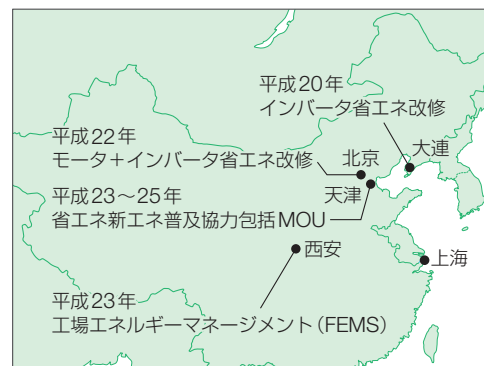


中国天津経済技術開発区の工場向け省エネ協力

中国では大企業を中心に、エネルギー使用量の見える化や省エネ制御などに対するニーズが高まっており、当社も平成20年以降、大連や北京などで省エネについて取り組んでまいりました。その実績が評価され、このたび中国天津市と共同で「工業企業の省エネ技術応用モデル事業」を行うこととなりました。

モータ制御を中心に当社の技術を生かしたアドバイスなどを行いながら、工場の省エネモデルを中国天津経済技術開発区とともに構築してまいります。今後も当社の技術を生かした取り組みを広げ、環境問題などの世界的な課題に取り組んでまいります。

中国におけるこれまでの当社実績



当社のモータドライブシステムが マツダ株式会社様の電気自動車 「デミオEV」に採用

マツダ株式会社様が開発した電気自動車「デミオEV」の駆動システムに、当社のモータドライブシステムを採用いただきました。当社独自の電子式巻線切替技術とモータ制御技術を生かし、電気自動車向けにマツダ株式会社様と共同開発したもので、低速領域で必要とされる高トルクモータの特性と、高速領域で必要とされる高回転モータの特性を併せ持ったユニークなモータドライブシステムです。また、広範囲な速度領域における高効率運転により、「デミオEV」の力強く伸びやかな走行性能の実現に貢献いたします。

(注) 本製品は「デミオEV」専用設計です。



当社のモータがトヨタ車体株式会社様の 超小型電気自動車「コムス」に採用

トヨタ車体株式会社様が開発した一人乗りの超小型電気自動車「コムス」の駆動用として、当社のモータを採用いただきました。小型の電気自動車には特に小型・軽量かつ高出力のモータが必要とされ、当社が長年培ってきたモータドライブ技術と、FA・産業用ロボットで培った小型化技術を最大限に生かすことで、環境性能にマッチしたモータを開発いたしました。

環境にやさしい都市交通の一つとして注目される電気自動車市場の多様なニーズに、今後も当社の技術で積極的にお応えしてまいります。

(注) 本製品は「コムス」専用設計です。



■ 新商品のご紹介・トピックス

ブラジル子会社の 事業所移転・統合について

南米最大の市場であり、今後も成長が期待されるブラジルにおいて、事業展開を一層加速するため、米州統括子会社（YASKAWA America, Inc.）傘下の連結子会社2社（Yaskawa Elétrico do Brasil Ltda., Motoman Robótica do Brasil, Ltda.）の事業所を移転・統合いたしました。

ロボットシステムの統合や、高圧インバータ製品のパネル製作スペースなどの拡大により生産効率をアップするとともに、窓口のワンストップ化を図ることで顧客満足度を高めてまいります。

「やすかわくん」が 日本マーケティング大賞奨励賞を受賞

産業用ロボットをサービスビジネスに展開した取り組みの一つ、「みんなの最先端ロボット『やすかわくん』」が日本マーケティング大賞奨励賞を受賞いたしました。

日本マーケティング大賞は、消費者の生活の向上と経済・社会の活性化に資する活動を奨励し、マーケティングのプレステージを高めることを目的に平成19年に設立されたものです。「やすかわくん」は「優れた技術力を消費者に分かりやすく伝える活動が本来の事業拡大に貢献した」点を高く評価いただきました。

サービスロボット市場の拡大をさらに早期化・加速化させるため、今後も様々な活動に取り組んでまいります。

■ ブラジル子会社・新事業所の概要

- YASKAWA Elétrico do Brasil Ltda.

取扱製品：インバータ・モーションコントロール製品

所在地：Avenida Piraporinha 777, Diadema, São Paulo, 09950-000, Brazil

- Motoman Robótica do Brasil, Ltda.

取扱製品：ロボット製品

所在地：Avenida Dona Ida Cerati Gagrini 936, Diadema, São Paulo, 09950-000, Brazil



「やすかわくん」



トロフィーを受け取る
南 善勝ロボット事業部長（右）

安川情報システム株式会社

EneSight for BEMS

夏期や冬期における電力不足の懸念から、現在多くの企業は「我慢の節電」を強いられています。長期的な実施には快適なオフィス環境とのバランスを取ることが重要となるため、効率的で継続可能な省エネ・節電活動が課題となっています。

「EneSight for BEMS」は、設置したセンサから電力消費実績を収集・集計して、エネルギー消費量を見える化・分析することにより、電力消費のムダの発見を支援すると同時に社内での省エネ意識の徹底を促進いたします。また、デマンド(最大需要電力)管理機能により30分単位での消費電力量を予測・通知(警報)することで、契約電力量の超過防止を支援いたします。

ムダを知り、適切な対策を採ることで、快適さを損なわず、無理のない節電が可能となります。

株式会社 ワイ・イー・データ

MECHATROLINK-III対応

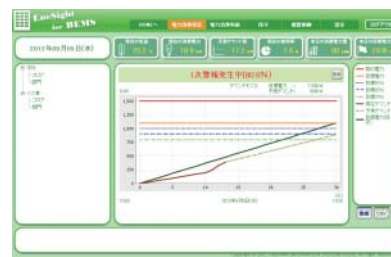
ガルバノスキャナコントローラを販売開始

当社は、フルデジタル制御を特徴とするガルバノスキャナシステムとその応用製品の開発・製造・販売を行っており、自動車関連向けのリモート溶接ヘッドや電子部品業界向け光学ユニットを中心に順調に拡大しております。このたび、さらに新たな市場の開拓を進めるため、MECHATROLINK-III(フィールドネットワーク)に接続可能なガルバノスキャナコントローラを開発し、販売を開始いたしました。

従来のガルバノスキャナでは、同期運転が必要な場合には専用NCなどの個別開発を行う必要がありましたが、このコントローラを使うことでガルバノスキャナと外部軸あるいはセンサなどとの同期運転を、オープンなモーション制御用フィールドバスであるMECHATROLINKによって実現でき、今後ガルバノスキャナの一層の用途拡大が期待できます。



電力消費量グラフ(前日比較)



デマンドモニタ



MECHATROLINK-III対応
ガルバノスキャナコントローラ

■ 連結財務諸表 (要約)

連結貸借対照表 (平成24年9月20日現在)

(単位：百万円)

資産の部		負債の部	
流動資産	190,526	流動負債	109,790
現金及び預金	22,970	支払手形及び買掛金	54,732
受取手形及び売掛金	84,288	短期借入金	22,751
たな卸資産	59,507	未払費用	16,911
繰延税金資産	7,114	その他	15,394
その他	18,164	固定負債	57,221
貸倒引当金	△ 1,518	新株予約権付社債	15,000
固定資産	80,835	長期借入金	9,083
有形固定資産	37,709	退職給付引当金	25,948
建物及び構築物	15,331	役員退職慰労引当金	196
その他	22,377	その他	6,993
無形固定資産	7,164	負債合計	167,012
投資その他の資産	35,961	純資産の部	
投資有価証券	16,962	株主資本	106,925
繰延税金資産	12,044	資本金	23,062
その他	7,330	資本剰余金	18,684
貸倒引当金	△ 376	利益剰余金	65,624
		自己株式	△ 444
		評価・換算差額等	△ 7,178
		その他有価証券評価差額金	1,524
		為替換算調整勘定	△ 8,702
		少数株主持分	4,602
		純資産合計	104,349
資産合計	271,362	負債・純資産合計	271,362

(注) 記載金額は百万円未満を切捨てて表示しております。

連結損益計算書

(単位：百万円)

自平成24年3月21日 至平成24年9月20日	
売上高	150,486
売上原価	111,295
売上総利益	39,191
販売費及び一般管理費	33,052
営業利益	6,139
営業外収益	1,051
受取利息	34
受取配当金	228
持分法による投資利益	374
その他	414
営業外費用	836
支払利息	325
為替差損	415
その他	95
経常利益	6,354
特別利益	407
固定資産売却益	7
投資有価証券売却益	172
段階取得に係る差益	159
その他	67
特別損失	877
固定資産除売却損	135
投資有価証券評価損	198
減損損失	286
事業構造再編費用	238
その他	17
税金等調整前四半期純利益	5,884
法人税、住民税及び事業税	2,336
法人税等調整額	△ 138
少数株主利益	187
四半期純利益	3,498

(注) 記載金額は百万円未満を切捨てて表示しております。

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

自平成24年3月21日 至平成24年9月20日	
営業活動によるキャッシュ・フロー	19,971
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 5,695
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 11,523
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 317
現金及び現金同等物の増減額	2,434
現金及び現金同等物の期首残高	20,206
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	36
非連結子会社との合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	185
現金及び現金同等物の四半期末残高	22,863

(注) 記載金額は百万円未満を切捨てて表示しております。

資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、受取手形及び売掛金が大きく減少したこと等により、2,713億62百万円(前連結会計年度末比77億10百万円減)となりました。

負債合計は、短期借入金が減少したこと等により、1,670億12百万円(同75億52百万円減)となりました。

純資産合計は、その他有価証券評価差額金及び為替換算調整勘定が減少したこと等により、1,043億49百万円(同1億58百万円減)となりました。

キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は228億63百万円となり、前連結会計年度末に比べ26億57百万円の増加となりました。

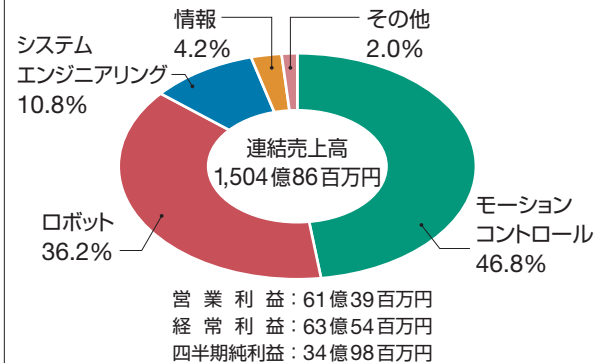
営業活動によるキャッシュ・フローは、199億71百万円の収入(前年同期比78億44百万円の収入増)となりました。主な内訳は、税金等調整前四半期純利益58億84百万円、減価償却費38億64百万円、退職給付引当金の減少45億22百万円、売上債権の減少66億77百万円、たな卸資産の減少32億2百万円です。

投資活動によるキャッシュ・フローは、56億95百万円の支出(前年同期比9億13百万円の支出減)となりました。主な内訳は、有形及び無形固定資産の取得による支出45億19百万円です。

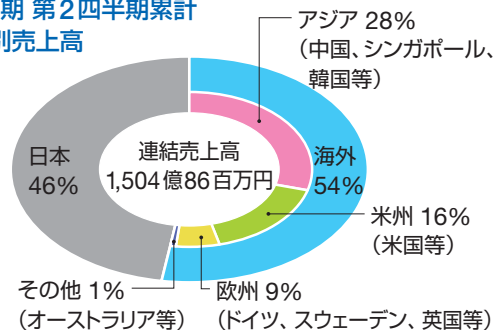
この結果、営業活動と投資活動によるキャッシュ・フローを合計したフリー・キャッシュ・フローは、142億76百万円の収入となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、115億23百万円の支出(前年同期比113億38百万円の支出増)となりました。主な内訳は、短期借入金の減少97億4百万円、長期借入れによる収入17億14百万円、長期借入金の返済による支出21億72百万円、配当金の支払額12億59百万円です。

第97期 第2四半期累計 連結売上高構成比率



第97期 第2四半期累計 地域別売上高



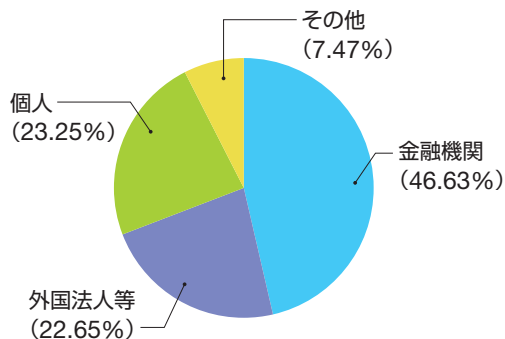
株式の状況 (平成24年9月20日現在)

発行可能株式総数…………… 560,000 千株
 発行済株式の総数…………… 252,331 千株
 資本金…………… 230億62百万円
 株主数…………… 24,774 名

大株主(上位10名)	持株数	持株比率
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	15,305 千株	6.08%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	14,193 千株	5.63%
株式会社みずほコーポレート銀行	8,100 千株	3.22%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (三井住友信託銀行退職給付信託口)	7,970 千株	3.16%
明治安田生命保険相互会社	7,774 千株	3.09%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (三井住友信託銀行再信託分・株式会社福岡銀行退職給付信託口)	6,375 千株	2.53%
サジヤツブ	6,240 千株	2.48%
日本生命保険相互会社	4,247 千株	1.69%
野村信託銀行株式会社(投信口)	4,229 千株	1.68%
株式会社西日本シティ銀行	3,432 千株	1.36%

(注) 持株比率は、自己株式を控除して算定しております。

● 所有者別株式分布状況



役員 (平成24年9月20日現在)

取締役

代表取締役会長 利 島 康 司
 代表取締役社長 津 田 純 嗣
 代表取締役 専務執行役員 鬼 頭 正 雄
 取締役 常務執行役員 沢 俊 裕
 取締役 常務執行役員 宇佐見 昇
 取締役 執行役員 村 上 周 二
 社外取締役 秋 田 芳 樹

監査役

監査役(常勤) 市 川 学
 監査役(常勤) 下 園 直 登
 社外監査役 石 丸 誠
 社外監査役 辰 巳 和 正

執行役員

常務執行役員 中 村 公 規
 常務執行役員 小笠原 浩
 執行役員 後 藤 英 樹
 執行役員 本 松 修
 執行役員 南 善 勝
 執行役員 柳 瀬 重 人
 執行役員 中 山 裕 二
 執行役員 高 宮 浩 一
 執行役員 野 田 幸 之 輔
 執行役員 善 家 充 彦
 執行役員 小 川 昌 寛

■ 会社の概要 (平成24年9月20日現在)

商号 株式会社 安川電機

英文社名 YASKAWA Electric Corporation

設立 大正4年7月16日

従業員 8,649名(連結) 2,796名(個別)

事業所 本社	〒806-0004 北九州市八幡西区黒崎城石2番1号	電話 (093) 645-8801
東京支社	〒105-6891 東京都港区海岸一丁目16番1号 ニューピア竹芝サウスタワー	電話 (03) 5402-4502
名古屋支店	〒450-0002 名古屋市中村区名駅三丁目25番9号 堀内ビル	電話 (052) 581-2761
大阪支店	〒530-0003 大阪市北区堂島二丁目4番27号 新藤田ビル	電話 (06) 6346-4500
九州支店	〒810-0001 福岡市中央区天神四丁目1番1号 第7明星ビル	電話 (092) 714-5331
工場等	八幡西事業所・八幡東事業所・行橋事業所・入間事業所・小倉事業所	

主要関連会社

JAPAN

- 株式会社 ワイ・イー・データ
情報関連製品・サービス
(オプトメカトロニクス・情報セキュリティ・情報マルチメディア)
- 安川情報システム株式会社
情報の処理提供サービス・ソフトウェア開発並びにシステム機器販売
- 安川コントロール株式会社
電気機械器具及びその部品の製造・販売
- 安川エンジニアリング株式会社
電気機械設備の保全・整備・試運転調整及び技術指導
- 株式会社 安川ロジステック
総合物流事業
- 安川モートル株式会社
電動機、発電機及び電動機応用製品の設計・製造・販売・保全・整備
及び調整
- 株式会社安川メカトロック
電気機械器具、その他各種機械器具の販売

EUROPE

- YASKAWA EUROPE GmbH (ドイツ)
インバータ・サーボ・コントローラの製造・販売・サービス
ロボットの販売・サービス
- YASKAWA NORDIC AB (スウェーデン)
ロボットの販売・サービス
- YASKAWA ELECTRIC UK LTD. (イギリス)
インバータの製造・販売・サービス
- YASKAWA EUROPE TECHNOLOGY LTD. (イスラエル)
サーボ・コントローラの開発・製造・販売・サービス、ロボットの販売・サービス

ASIA

- YASKAWA ELECTRIC(CHINA) CO., LTD. (中国)
インバータ・サーボ・コントローラの販売・サービス
- SHANGHAI YASKAWA DRIVE CO., LTD. (中国)
インバータ・サーボ・コントローラの製造・販売
- YASKAWA SHOUGANG ROBOT CO., LTD. (中国)
ロボットの販売・サービス
- YASKAWA ELECTRIC (SHENYANG) CO., LTD. (中国)
サーボ・コントローラの製造・販売・サービス
- YASKAWA ELECTRIC (SINGAPORE) PTE. LTD. (シンガポール)
インバータ・サーボ・コントローラ・ロボットの販売・サービス
- YASKAWA ELECTRIC KOREA CORPORATION (韓国)
インバータ・サーボ・コントローラ・ロボットの販売・サービス
- YASKAWA ELECTRIC TAIWAN CORPORATION (台湾)
インバータ・サーボ・コントローラの販売・サービス、ロボットのサービス
- YASKAWA ELECTRIC INDIA PVT. LTD. (インド)
インバータの製造・販売
- YASKAWA ROBOTICS INDIA LTD. (インド)
ロボットの販売・サービス

AMERICA

- YASKAWA AMERICA, INC. (アメリカ)
インバータ・サーボ・コントローラの製造・販売・サービス
ロボットの販売・サービス
- YASKAWA MOTOMAN CANADA, LTD. (カナダ)
インバータ・サーボ・コントローラのサービス、ロボットの販売・サービス
- YASKAWA ELÉTRICO DO BRASIL LTDA. (ブラジル)
インバータ・サーボ・コントローラの販売・サービス
- MOTOMAN ROBÓTICA DO BRASIL, LTDA. (ブラジル)
ロボットの販売・サービス

<p>事業年度 毎年3月21日から 翌年3月20日まで</p> <p>定時株主総会 6月</p> <p>(配当金受領) 毎年3月20日 (期末配当金)</p> <p>(株主確定日) 毎年9月20日 (中間配当金)</p>	<p>公告方法 電子公告により行い、インターネット上の当社のウェブサイト (http://www.yaskawa.co.jp/ir/) に掲載いたします。ただし、やむを得ない事由により電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。</p> <p>上場金融商品取引所 東京・福岡</p> <p>株主名簿管理人 東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社</p>
--	---

お知らせ 郵便物送付先・電話お問い合わせ先等に関しましては、下記のとおりとなります。

	証券会社に口座をお持ちの場合	特別口座の場合
郵便物送付先 電話お問い合わせ先		〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 0120-288-324 (フリーダイヤル)
お取扱店	お取引の証券会社になります。	みずほ信託銀行株式会社 本店及び全国各支店 みずほインベスターズ証券株式会社(※) 本店及び全国各支店 ※平成25年1月4日以降はみずほ証券株式会社となります。
ご注意	支払明細発行については、右記の「特別口座の場合」の電話お問い合わせ先までご連絡ください。	単元未満の買取・買増以外の株式売買はできません。 電子化前に名義書換を失念してお手元に他人名義の株券がある場合は至急ご連絡ください。
	未払配当金の支払については、「特別口座の場合」のお取り扱い店、並びに株式会社みずほ銀行の本店及び全国各支店にてお取扱いいたします。	

上場株式配当等の支払に関する通知書について

租税特別措置法の規定により、株主様あてに「支払配当金額」や「源泉徴収税額」等を記載した「支払通知書」を通知することとなっております。つきましては、支払通知書の法定要件を満たした「配当金計算書」を同封しておりますので、平成25年の確定申告の添付資料としてご使用いただくことができます。

なお、配当金を株式数比例配分方式によりお受け取りの場合、源泉徴収税額の計算はお取引の証券会社等にて行われますので、平成25年の確定申告の添付資料としてご使用いただける支払通知書につきましては、お取引の証券会社等へご確認ください。

ホームページのご案内

当社ホームページ(アドレス <http://www.yaskawa.co.jp/>)にて、決算情報やニュースリリースを随時ご提供いたしております。